

SEISYUN 12

vol.543



〈特集〉
地区別代表者集会
地区座談会でのご意見・ご質問とその回答



JA西春日井
<https://www.ja-nishikasugai.com/>



JA西春日井は

特殊詐欺被害防止 × 地域農業の応援

特殊詐欺による被害は、様々な手法により多数発生しています。

特殊詐欺を未然に防ぐためにも「わたしはダマされないから大丈夫」と過信せず、何かおかしいと感じたら家族や警察に相談しましょう！

令和6年1月～10月
西枇杷島警察署管内で
25件、9,900万円超の
被害が発生！！



特殊詐欺の主な手口

キャッシュカード詐欺盗

警察官、銀行協会、百貨店等を装って「キャッシュカードが不正に使われている」などと電話をかけてキャッシュカードを準備させ、隙を見て盗み取る手口

架空料金請求詐欺

電話、メール等を使用し「未払い料金がある」など架空の事実を口実として金銭等をだまし取る手口

還付金詐欺

役所を装って「還付金がある」と電話をかけ、受け取り手続きを装ってATMを操作させて振込をさせることによりお金をだまし取る手口

フィッシング詐欺

実在する企業や銀行の名を装って、Eメールなどで偽サイトに誘導し、銀行口座情報などをだまし取る手口

に取り組んでいます！！

12月13日(金)

清須市産

JA西春日井の各支店にご来店いただいた方
先着200名様(全店合計)に
「シイタケ」をプレゼント

- シ 知らない電話やメール
- イ 今まさに
- タ ダマされているかも!?
- ケ 警察に相談を!



JAバンクを装ったフィッシングメールにご注意ください！

偽メールに気をつけてください



ポイント

操作を焦らされていませんか？

メールの件名や内容で慌てずに、まずは公式サイトからログインし、あわせて身に覚えのない取引がないか確認しましょう。

- <メールの件名> ※実際に確認されたもの
- ・【JAネットバンク】利用停止のお知らせ
 - ・【JAネットバンク】緊急停止のご案内
 - ・【JAネットバンク】お客さま情報等の確認について
 - ・【農業協同組合】振込(出金)、ATMのご利用(出金)利用停止のお知らせ
 - ・【緊急】JAネットバンク お取引を保留した(必ずご確認ください)

不特定多数の方へ複数回送られていることが確認されています。

各組織代表者が参集

地区別代表者集会

—組合員と一体となった事業運営を目指し

各組織代表が常勤役員らと対話—

J A西春日井は10月29日から11月1日にかけて地区別代表者集会を開きました。集会には総代をはじめ実行組合、出荷組合、春日地区婦人部の代表者ら、7会場で合計344人が出席し、常勤役員と担当部署長による令和6年度上半期決算の結果、各事業の進捗状況、自己改革の取組実績についての説明に耳を傾けました。集会ではその他、地区座談会で組合員の皆さまからいただいたご意見やご質問の内容と回答についての報告を行い、組合員の意思反映に向けた一層の理解と組織間の連携強化を呼びかけました。7月に開催した地区座談会における組合員皆さまからのご意見・ご質問と回答は次のとおりです。



▲会場の様子（西春支店）

〈地区座談会でのご意見・ご質問とその回答〉

【委託】

Q 畦畔の草取りや川ざらえは特定農作業委託（全面委託）の対象外とされているが、①自分で作業ができない場合や、畑の管理の委託など、農作業にかかる相談や問い合わせ先はどこか。②耕作放棄地の草取りや農地の貸し借りに関するPRを強化してほしい。
（西春・新川・春日）

A 畦畔の除草や川ざらえは、特定農作業委託（全面委託）の対象外としており、生活購買事業の家事支援業務の一環で作業委託を有料で承っています。なお、現在特定農作業委託（全面委託）中の水田についても、畦畔管理や川ざらえへの参加は、土地所有者の方にお願ひしています。①農作業に関する相談等については、営農部へお問い合わせください。②当組合では、農地の維持に向け、畑の管理は行っていないませんが、農地の貸し手・借り手のマッチングを行っています。また、行政においても、清須市では農地バンク制度、北名古屋市中

では農地マッチング支援事業を取り扱っています。今後も行政と連携し、PR強化に取り組んでまいります。

Q 特定農作業委託（全面委託）の委託業者（オペレーター）に関して、①JAは経営状況等を把握しているのか。②今後、特定農作業委託（全面委託）に委託料が発生する可能性はあるか。③委託業者へ丁寧な作業を行うようにJAから指導してほしい。
（西春・師勝）

A ①委託業者の経営状況については、毎年確認しています。②現時点では、特定農作業委託（全面委託）に対して委託料金を設定する予定はございません。③委託業者にはシーズン開始前に丁寧な作業を行うよう指示しています。今後も委託業者と連携を密にし、引き続き周知に努めてまいります。



Q 愛知県基幹的広域防災拠点の農地の替地については、JAは行政と連携して取り組んでいるのか。また、昨年特定農作業委託（全面委託）を解除したが、今年も水田作業ができたのではないかと。
（青山）

A 当初より行政と連携して取り組んでいます。また、従前委託されていた圃場については、土地が収用されたことで委託契約が解除され、所有者が変更されたため作付けはできません。

Q 個人農家や出荷組合の農業経営は、今後さらに厳しくなることが想定されるため、農家の所得向上に向けた取組や行政への働きかけを積極的に行ってほしい。
（西春・清洲・春日）

A 当組合では、JA西春日井農業ビジョンに基づき、様々な自己改革を実践することで農家所得の向上と都市農業の持続的発展に努めています。また、行政においては、地域農業を守る取組として、人・農地プランを法定化し地域計画を策定することが求められています。当組合におきましては、今後も行政と連携し、引き続き農家所得の向上と都市農業の持続的発展に努めてまいります。

Q 各種講習会の事前PRやLINEを活用した営農に関する問い合わせサービスを充実させてほしい。
（西枇杷島・春日）

A 各種講習会は、当組合広報誌に折り込むイベントカレンダーなどで案内しております。



Q 米の価格上昇は今後も続くのか。
（清洲・春日）

A 異常気象による品質の低下やコロナ禍で落ち込んだ米の需要が令和5年産米から急激に回復したことで、需給がひっ迫し、価格が上昇しています。今後の情勢は不透明な状況です。

Q カラスなどの鳥獣による農作物被害が多いため、何か対策をしてほしい。
（清洲・春日）

A カラスなどの鳥獣は鳥獣保護管理法により保護されており、許可なく捕獲したり処分したりすることはできません。鳥獣ネットの設置などが被害防止に効果的です。

Q 「あいちのかおり」は30年以上品種改良が行われていないが、愛知県の品種改良の情勢を教えてください。
（春日）

A 愛知県では、令和5年8月に暑さに強い品種「あいちのこころ」が推奨品種に採用され、令和7年度以降に生産者へ向けた一般栽培種子の供給が開始される予定です。当組合管内では、試験栽培を実施し管内の水田に適している品種かを見極めたうえで採用の可否を検討いたします。

Q 野菜の契約出荷の取組について教えてください。
（西春）

A 生産数量が近隣JAより少ないことから、生産コストが高くなる傾向にあります。今後も適切な価格設定に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【購買】

Q グリーン西春日井について、農機具の修理及び農の取扱いはしているか。また、商品の充実、専門職員の配置などに積極的に取り組んでほしい。
（西春・春日・師勝・青山）

A 行政に対して注意喚起を強化するよう要望いたしました。また、当組合におきましては、広報誌などにより注意喚起を実施しております。

（西枇杷島）

A 農機具の修理及び薬については、グリーン西春日井で取扱いをします。近年栽培作物が多様化し、品種や栽培方法なども多岐にわたることから、営農経験・知識が豊富な職員をグリーン西春日井に配置するとともに、農業電子図書館を設定して、相談体制の強化に取り組んでいます。また、組合員の皆さまが必要な生産資材を中心に、品揃えの充実にも取り組んでいます。引き続き、生産者ニーズにお応えできるよう努めてまいります。なお、薬に関しては、特定農作業委託(全面委託)の場合は、稲刈り時に薬を残す対応も可能となりますので、当組合営農部までお問い合わせください。

Q 肥料や農薬について、①有効期限内に使い切ることが困難なため、小分け販売を実施してほしい。②肥料等の配達希望時期を選択できるようにしてほしい。また、初穀の配達も行ってほしい。
(西春・春日・師勝)

A ①肥料は使用期限がないため、直射日光や雨風の影響を受けにくいなど管理が適切であれば長期間の使用が可能ですが、農薬は、メーカー等に少量の規格での販売を要望しています。また、コストなどの問題もあり実現に至っていません。引き続き要望してまいります。②当組合では経営基盤の確立・強化に向け、業務の効率化に取り組んでおり、予約注文の配達については、集中配達を行っています。なお、個別注文については、希望する配達時期により配達しています。また、初穀の配達については、人員や車両の確保が困難であることから、取組の予定はありません。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

Q 予約肥料・農薬の価格が他の店舗の通常販売価格より高い商品もあるため、価格設定について検討してほしい。また、配達料の詳細についても教えてほしい。
(春日・師勝・青山)

A 生産資材の価格の低廉化は大きな課題と捉え、定期的に価格調査を実施し、取引業者と交渉しています。

Q ジャンボタニシ撲滅事業について、①捕獲器の使用方法を詳しく教えてほしい。②捕獲器を追加購入することはできるか。③生産者だけに配付するだけでは撲滅できないので、幅広く配付してはどうか。④配付するなら田植え時期が良いのではないか。
(西春・新川・清洲・春日・師勝・青山)

A ①農業支援対策事業(農機具)は、農業者の支援を目的に、農業経営の安定化及び農地の維持管理に必要な農機具の購入を助成しています。②対象商品は、地区座談会などにおける要望・意見を参考に選定しています。③次年度以降の本施策の実施は未定ですが、実施する際には、要望・意見を参考に皆さまが必要とする農機具の選定に努めてまいります。④本施策は、全国共済農業協同組合連合会の地域・農業活性化活動助成金を活用しており、承認された範囲内での助成となりますので、ご理解ください。また、透明性を確保する観点から、先着順としています。⑤受付初日にメーカーが展示ブースを設置しています。⑥農機具の使用方法については、個別に対応いたしますので、当組合営農部へご連絡ください。



A ジャンボタニシ撲滅事業は、全国的にジャンボタニシによる水稻の被害が発生しており、被害を減らすための一助となることを目的に、無料配布を行った取組です。この事業は、全国共済農業協同組合連合会の地域・農業活性化活動助成を活用しています。①使用方法は、捕獲器の中に、野菜くずや米ぬかなどを入れ、水田の水の出入り口付近に流されないように重りや紐などで固定して設置してください。また、捕獲したジャンボタニシは自治体のルールに従って廃棄してください。②捕獲器はグリーン西春日井でご購入いただけます。③生産者に配付を限定しているのは、助成の範囲内

また、注文書掲載外の商品の場合1点につき110円(税込)の配達料が必要となります。

【産直】
Q アグリマルシエはるひの売上推移を教えてください。また、入口付近に牛糞や鶏糞を陳列しているが、匂いが気になるため、陳列場所を変更してほしい。
(清洲・春日)

A アグリマルシエはるひでは、新鮮で安全・安心な地元産産物を中心に販売しています。売上高は年々増加しており、昨年度の売上高は97,577千円となりました。また、今後もお客さまに気持ちよく買い物をしていただけるよう、随時店舗レイアウトを見直すなど魅力ある店舗づくりをスタッフ一同取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。



の取組となりますのでご理解ください。④捕獲器は、使用状況によって異なりますが、来年以降繰り返し使用することが可能です。次期の被害防止にも繋がりますので、ぜひ活用ください。



【出張販売】
Q 出張販売について事前PRを強化してほしい。また、商品を充実させてほしい。
(西春・西枇杷島・師勝)

A 産直出張販売は、年2回、貯金キャンペーン期間中に金融店舗で開催しています。年々利用者も増加していることから、引き続き



Q 産直会員になる条件を教えてください。
(西春)

A 産直会員の条件は、当組合管内に在住かつ同管内農地又は同管内に隣接した農地にて自作で青果物等の農産物を栽培する個人、グループ、事業者となります。また、農産物の出荷にあたっては、栽培日誌の提出が必要となります。

【実行組合】
Q 実行組合員が減少傾向にあり、実行組合長の選出も困難となってきた。回覧方法を含めて、JAとしてどのように考えているか。
(西春・西枇杷島・春日・青山)

産直部会員との連携を密にし、商品の充実にも努めてまいります。開催日程については、SNSや店頭ポスターなどでご案内いたしますので、確認のうえ、ぜひご利用ください。

【レンタル農機】
Q レンタル農機を近くの支店での受取や返却、平日でも軽トラックを借りることができるようにしてほしい。また、種類を増やしてほしい。
(西春・師勝・青山)

A レンタル農機は、皆さまが利用しやすいよう低料金で設定していることから、グリーン西春日井のみでの取扱いとしています。また、運搬用の軽トラックの貸出については、業務で使用している軽トラックを使用するため、土日祝日のみの取扱いとさせていただきます。なお、令和6年10月より、ウッドチップとハンマーナイフモアを新たに導入しました。



A 実行組合は、総合的な機能を持つ農業生産者の集まりで、集落ごとの任意組織となります。実行組合の運営については、各実行組合でご協議いただけますようお願いいたします。なお、実行組合の回覧は、実行組合員に重要な情報を伝達するために必要な手段と考えています。病害虫情報など急を要する内容もございましたら、引き続き回覧にご協力をお願いいたします。

【農業支援】
Q 農業支援対策事業(農機具)に関して、①内容を詳しく教えてほしい。②対象商品を充実させてほしい。③農業者の希望を聞いた上で、対象商品を決定してほしい。④助成金の上限を拡大したり、先着順ではなく抽選にする。⑤対象商品の現物を事前確認することはできるか。⑥購入した農機具の使用方法的講習会を開催してほしい。
(西春・西枇杷島・清洲・春日・師勝)

【相談業務】
Q 個別税務相談に必要な書類を教えてください。
(師勝)

A 所得税の相談であれば、確定申告書の控え、相続税の試算であれば、固定資産税の課税明細や預貯金額のわかる資料などが必要となります。相談内容により必要書類は変わりますので、予約時に、当組合営農部開発相談課までお問い合わせください。

【その他営農関係】
Q グリーン西春日井とアグリマルシエはるひの取扱商品の違いを教えてください。
(西春)

A グリーン西春日井では、主に生産者向けに肥料・農薬・農機具・種苗などの各種農業資材を取り扱っています。アグリマルシエはるひでは、消費者向けに生産者が生産した野菜・果物などの産直品を中心に取り扱え、その他にも米や食料品などを取り扱っています。

Q 畑の土壌診断はどのように行うのか。(西春)

A 土壌診断では、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握することができます。土壌診断に基づいた施肥を推進し、作物収量の安定、施肥コストの低減が可能となります。今年度は、農業支援を目的に1件550円(通常価格1、100円)で実施しています。お申し込みは、当組合営農部までご連絡ください。

Q 種もみの保証書が令和4年産となつていますが、問題はないか。(師勝)

A 全て愛知県米振興協会が発芽率等を検査した品質に問題ない種もみを取り扱っていますので問題ありません。

Q 6次産業化商品とは何か。(青山)

A 農水畜産物の生産(1次産業・加工(2次産業・販売(3次産業)を同一事業者が全て行う事業を6次産業と呼び、生産物の価値をさらに高め、農家所得の向上を目指す取組として推



Q 近くの支店で肥料や農薬等の販売を再開してほしい。(青山)

A 以前は、金融店舗においても肥料などを取り扱っていましたが、取扱量の減少等から令和2年10月をもって廃止しています。購買品については、年2回、実行組合を通じて肥料・農薬の予約注文を行っていますので、ぜひご利用ください。

Q 有機フッ素化合物(PFAS)に関する作物の影響を教えてください。(青山)

A 有機フッ素化合物(PFAS)については、農作物に対する人体に影響する指針値の基準が定められていません。引き続き、国の動きを注視してまいります。

Q 不要な生産資材等をJAで回収してほしい。(青山)

A 当組合では、不要ビニールと不要農薬の回収を1年ごとに実施しています。令和6年度は、不要ビニールの回収を行いました。

【座談会】

Q 地区座談会の開催時間を変更した理由を教えてください。(新川)

A 地区座談会については、これまで夜間の外出における安全面への配慮から昼間開催に変更してほしい等のご意見が寄せられており、昨年度から開催時間を変更して

ますので、ご理解ください。

Q 地区座談会では、経営状況の資料を添付しないのか。また、地区に合わせた実績も報告してほしい。(西春・青山)

A 以前は、地区座談会資料に当組合の財務状況に関する資料を添付していましたが、資料をスリム化してほしいとのご意見が寄せられたことから、現在は、財務関係資料は添付していません。当組合の財務状況については、総代会資料に詳しく記載していますので、そちらをご確認ください。なお、秋に開催する地区別代表者集会では仮決算の状況を報告しています。また、地区座談会では統一した資料を使用しています。地区ごとの実績については、お手数ですが、個別にお問い合わせください。

Q 地区座談会に、常勤理事や地元理事が出席してほしい。(青山)

A 常勤理事は地区座談会ではなく、秋に開催する地区別代表者集会に出席して

【出資】

Q 組合員のメリットのPRを強化するとともに、利用分量配当などさらなるメリットを訴求してほしい。(西春・清洲)

A 当組合では出資配当率7%と県下トップクラスの配当を実施しています。また、出資配当のご案内とともに、組合員限定クーポンを配付しており、組合員メリットの強化に取り組んでいます。今後さらなる強化に努めてまいります。

【総代会】

Q 総代会には総代以外の組合員も出席でき、発言することは可能なのか。(青山)

振興・発展に寄与するという観点から、JA又は連合会のOB・OGや地方公共団体のOB・OGで役職経験者、民間企業等の役職経験者、弁護士等の資格保有者、実行組合長や農業委員会の委員経験者、農産物の出荷者としています。

Q JA西春日井の働き方改革にかかる取組状況、職員の男女比が知りたい。また、女性活躍についてどのように考えているか。(新川・師勝)

A 当組合は、政府による働き方改革を受け、時間外労働の削減、有給休暇の取得向上、育児休暇の取得推奨などに取り組んでいます。令和6年4月1日における全職員の男女比は、男性約55%、女性約45%です。また、当組合では令和6年4月1日時点で、金融店舗10店舗中3店舗を女性支店長、営農店舗2店舗中1店舗を女性支店長が務めており、一般事業主行動計画に基づき女性が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

【その他企画管理関係】

Q 理事における「実践的能力者」とは、どのような人物を指すのか。(新川)

A 理事における「実践的能力者」とは、地域農業の



Q 阿原支店の統廃合は行うのか。(西枇杷島)

A 阿原支店は令和7年に築40年を迎えます。阿原支店については、令和3年6

Q グリーン西春日井とアグリマルシェはるひを統合する計画はあるのか。(西春・師勝)

A 当組合においては、持続可能な経営基盤の確立・強化に向け、不断の自己改革を実践しており、営農事業の収益力強化や農家所得の向上に取り組んでいます。今後これらの取組を一層進めるとともに、次世代との繋がり強化にも取り組んでまいります。

Q 当組合においては、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化に向け、不断の自己改革に取り組んでいます。その取組において、店舗体制の再構築を掲げ、当該取組の一つとして、購買店舗の統合を検討しています。今後、組合員のご意見なども参考にし、検討を進めてまいります。

A 以前は、金融店舗においても肥料などを取り扱っていましたが、取扱量の減少等から令和2年10月をもって廃止しています。購買品については、年2回、実行組合を通じて肥料・農薬の予約注文を行っていますので、ぜひご利用ください。

Q 営農事業の収益増加のため、事業の見直しなど積極的に取り組んでほしい。また、次世代を意識した魅力ある施策にも取り組んでほしい。(清洲)

A 毎年、管内の小学校を対象に田植実習や稲刈実習、イチジク農家見学を実施しています。また、昨年度から新たに、幼稚園を対象にトウモロコシの収穫体験を実施しています。これらの取組については、当組合広報誌のほか、SNSへの掲載や日本農業新聞への寄稿により情報発信をしていますので、ご確認ください。

Q 今後、農業祭は開催するのか。また、合併50周年を記念したイベント等を行う予定はあるか。
(新川・師勝・青山)

A 現在のところ、農業祭の開催予定はありませんが、行政が開催する各種イベントへの参加・協賛等を通じて、地域農業振興に努めています。また、当組合は令和7年度に合併50周年を迎えます。記念イベント等の内容を含め、詳細は決定次第、広報誌等でご案内いたします。

Q JA西春日井の財務状況について、令和5年度の事業総利益に占める信用事業及び共済事業の割合が知りたい。また、他のJAと比較した場合、どのような特徴があるのか。
(清洲・師勝)

A 令和5年度における事業総利益に占める信用事業と共済事業の割合は、信用事業72.1%、共済事業22.3%となります。また、愛知県下JA平均と比較すると、当組合は事業総利益に占める信用事業と共済事

Q マイカーローン、リフォームローンについて教えてください。
(清洲・青山)

A マイカーローンは、自動車の購入や修理・車検などに必要な資金に対してご利用いただけます。また、リフォームローンは、住宅の増改築・改装、補修、住宅関連設備の取得、他金融機関から借入中のリフォーム資金（有担保ローンは除く）のお借り換えに必要な資金に対してご利用いただけます。金利等の詳細については本支店窓口までお問い合わせください。

【その他信用】

Q JA西春日井では、どのような特殊詐欺被害防止に向けた取組を行っているか。また被害防止に繋がった実績はあるか。
(師勝)

A 当組合では、これまで右年金支給日に金融店舗の利用者に対して地元産の木ウレンソウを配り、不審な電話やメールが届いたら「報

業の割合が高いという特徴があります。なお、金融機関の健全性を示す重要な指標の一つである自己資本比率は、令和6年3月31日基準で31.79%であり、JA系統の自主ルール基準である8%を大きく上回る高い水準を保っています。今後も組合員をはじめ利用者の方々に安心してお取引いただけるよう健全な経営に努めます。

【農林中央金庫】

Q 農林中央金庫に赤字が発生する可能性がある旨の報道があったが、詳しい内容やJA西春日井への影響について知りたい。
(新川・清洲・春日・師勝・青山)

A 農林中央金庫に関する報道により、組合員・利用者の方々に多大なご心配をおかけしています。農林中央金庫は令和7年度以降の安定的な収益確保のため、健全性の維持を前提に、令和6年度に低収益資産を売却・損失処理を行い、運用資産の改善を進める方針で

す。その結果、一時的なものでありますが今年度に赤字を計上する可能性が高いと聞いています。なお、農林中央金庫がこのような損失処理を行ったとしても、十分な厚みの資本を維持し、自己資本比率なども健全な水準を確保できると試算しています。また、当組合は愛知県連連から配当金を受け取っていますが、愛知県連の収支状況は安定しており、リーマンショック時も配当金の支払いが途絶えたことはなく、今回の農林中央金庫の影響を考慮しても、黒字を確保する見通しと聞いていますので、安心してお取引いただけますようお願いいたします。

【金利】

Q 年金受取とくとく定期とJAゆうゆう定積の内容が知りたい。
(春日)

A 「年金受取とくとく定期」は、当組合で公的年金をお受け取りの方を対象に、定期貯金1年、金利年0.3%でお預入れいただける商品です。なお、お預入れ

書は後日交付する取扱いとなりますので、ご理解ください。

【共済】

Q 自身が加入している共済契約を把握する方法はあるか。
(春日)

A ご加入の共済契約にマイページ番号を登録済みの方は、毎年5月頃に郵送するJA共済加入状況表にて、ご契約の共済契約の内容を確認いただけます。また、令和3年4月よりスマートフォンやパソコンなどのWeb上で契約内容の確認や住所変更などの各種手続きができるWebマイページ制度を開始しています。大変便利なサービスとなりますので、Webマイページの登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください。

Q 掛け捨てタイプの火災共済は取り扱っているか。また、築年数が古い建物でも加入できるか。
(西春)

A JA共済では、火災や落雷等を保障する掛け捨て

は300万円までとなりません。また、「JAゆうゆう定積」は、当組合で公的年金をお受け取りの方を対象に、期間1年、2年、3年、4年、5年の定期積金を年0.2%の利回りでご契約いただける商品です。大変お得な商品となりますので、ぜひご利用ください。



Q マイナス金利の解除を受けて、定期貯金金利は変わったのか。
(師勝)

A 当組合においては、金融・経済情勢や他金融機関の動向等を考慮し、随時、貯金金利を見直しています。

【ATM】

Q ATMで通帳繰越ができるようにしてほしい。
(師勝)

A ATMの利用量など、

総合的に判断して検討してまいります。

【手数料】

Q 多量の硬貨を入金する場合、手数料が必要か。また、新紙幣への両替は可能か。
(春日・師勝)

A 多量の硬貨の入金にあたっては、一定の事務負担が発生することから、手数料を設定していますので、ご理解ください。また、当組合では、7月8日以降、新紙幣への両替の取扱いを開始しています。なお、所定の枚数を超える両替は手数料が必要となります。

【融資】

Q 住宅ローンの貸倒実績はあるのか。
(清洲)

A 住宅ローンについては、契約時に保証会社による保証利用を条件としていますので、万一債務者が返済できなくなった場合であっても、当組合は保証会社から弁済を受けることができるため、貸倒実績はありません。

Q 他県JAでは、職員の不必要な契約に関する報道があったが、JA西春日井の実態はどうか。また、職員のコンプライアンス意識の醸成に向けてどのような取組を行っているか。
(師勝)

A 当組合では、職員の不必要な契約の実態はありません。また、共済事業に携わる職員に対して、目標の達成を図ることなどを目的とした必要な共済契約を締結しないよう研修会などにより周知・徹底を図り、職員のコンプライアンス意識の醸成に向けた取組を行っています。

Q 免許返納した場合、自動車共済はどうしたらよいか。
(青山)

Q 全ての支店で共済手続が行えるようにしてほしい。
(青山)

A 阿原支店及び青山支店の組合員や利用者の方々には、ご不便をおかけして申し訳ございません。内容によっては、得意先係が訪問し、お手続きいたしますので、お気軽にご相談ください。



Q 国税を納付する際、なぜその場で領収書をもたえないのか。
(師勝)

A 当組合を含めたJAバンクあいちでは、国税の受入手続は、歳入復代理店である愛知県信連を経由して行う必要があるため、領収

出張販売で地域との繋がりが強化 ブロック連携で地域農業をPR

J A西春日井は、10月から11月にかけて各地域で開催されたイベントに参加し、アグリマルシェはるび出張販売を行いました。

地域農業に対する理解醸成と地産地消の促進を目的とした取組で、各ブロックの職員がスタッフとして参加。地元農産物やJAオリジナル加工品を販売しながら、産直の利用をPRしました。

清須産業まつりでは、同時開催された清洲城信長まつりとの合同イベント「チャレンジスタンプラリー」に、JA共済の助成金を活用してJA西春日井産米「あいちのかおり」を提供。参加者先着900人に米300gがプレゼントされました。



▲第16回清須産業まつり(10月13日)
※清洲・春日ブロック



▲清須市食育まつり(11月9日)
※西春ブロック、師勝・青山ブロック



▲第20回新川やると祭(9月28日)
※新川・西枇杷島ブロック



田んぼで稲刈り満喫 記憶に残る「農」体験を

10月中旬から下旬にかけて、管内の北名古屋市立師勝北小学校と清須市立春日小学校の5年生児童、北なごや中部こども園の年長児が、6月の田植えに続いて稲刈りに挑戦しました。

営農部職員が農作業オペレーターとともに収穫作業をサポートし、小学生は2人1組で稲の刈り取りと束ねを、園児は先生が刈り取った稲を手を持って運ぶなどしました。

児童らは、意欲的に作業に取り組み「田植えよりも楽しい」「もつと稲を刈りたい」と声を弾ませ、貴重な体験に笑顔を見せていました。



春日小学校(10月29日)



北なごや中部こども園(10月21日)



師勝北小学校(10月17日)



NEWS & TOPICS みのにん通信



J A西春日井キャピタル部会 戦国時代の城下町跡を見学

J A西春日井キャピタル部会は10月30日、研修旅行を行い、会員ら56人が参加しました。訪れたのは「特別史跡」「特別名勝」「重要文化財」と国の三重指定を受ける、福井県福井市の一乗谷朝倉氏遺跡です。

参加者は、現地観光ガイドの説明を聞きながら、発掘調査で見つけた出土品に基づいて忠実に再現された復原街並を散策。武家屋敷や町屋が並ぶ道路を歩きながら、戦国時代の人々の暮らしを垣間見えています。



▲遺跡見学の様子



来年の干支飾りはバッチリOK! 春日婦人学校 手芸クラブ

春日支店で10月24日、春日婦人学校手芸クラブの活動が行われました。

毎年この時期は、2日間かけて干支にちなんだ作品にチャレンジする皆さん。今回は、来年在り年ということで「へび」をモチーフにしたきぬみこみパッチワークに取り組みました。

布を切ったり貼ったり台紙に押し込んだりと、細かな作業に苦戦する場面もありましたが、会話を楽しみながらそれぞれのペースで作業を進めました。完成した作品は自宅に飾り、新年を迎えるそうです。



▲作品を持ってハイポーズ!



ブロック連携で接客技術の向上を図る 第37回ロールプレイング大会

金融部は10月26日、職員教育の一環として金融窓口担当者のロールプレイング大会を本店で開催し、各ブロックの代表4人が出場しました。

競技者は、顧客の資産形成や運用ニーズに対して情報提供を行う「よさこい活動」を軸に演技を披露。アンケートで得た情報を活用しながら、ヒアリング・アプローチ・クロージングを意識したお客様本位の推進を展開し接客技術を競いました。

競技の結果は次のとおりです。

- 優勝 田代夏海 春日支店(清洲・春日ブロック)
- 準優勝 森 美月 鹿田支店(師勝・青山ブロック)



▲競技者: 森末優さん(西春支店) 森美月さん(鹿田支店) 田代夏海さん(春日支店) 鶴飼彩華さん(阿原支店) ※写真左から



ゴミを適正処分 使用済みプラスチック資材を有料回収

営農部は10月30日、農作業で使用したビニールやポリエチレンフィルムなどプラスチック資材の有料回収を野菜予冷施設で行いました。

環境保全と事業用廃棄物の適正処理の観点から、広報紙等で利用を呼び掛けたところ、事前申込により23件、総重量3.4トンの廃棄資材を回収しました。

J Aでは、不要農薬と使用済みプラスチック資材の有料回収を隔年で実施しており、令和7年は不要農薬を対象に行う予定です。時期が来ましたら広報紙等でご案内しますので、ぜひご利用ください。



▲廃棄資材回収の様子



★わが家の★ げんキッズ!

写真左から

こらま はるま
小浦 陽真くん 7歳

- ★好きな食べ物：モンブラン、赤福
- ★お気に入り：中日ドラゴンズ
- ★熱中していること：野球

えいと
小浦 瑛斗くん 4歳

- ★好きな食べ物：エビ、肉
- ★お気に入り：ポケモン
- ★熱中していること：自転車に乗ること

かなみ
河村 叶望ちゃん 4歳

- ★好きな食べ物：ペロペロキャンディー
- ★お気に入り：ポケモン
- ★好きな遊び：お人形遊び

清洲支店管内
河村 幸治さん・美由紀さんのお孫さん



かのん
小浦 花音さん 9歳

- ★好きな食べ物：オムライス
- ★お気に入り：世界名作の本
- ★熱中していること：読書

—ご家族からのメッセージ—
いつも仲よしの4人組。これからもみんな仲よく
元気いっぱい大きくなりますように😊

ウチの人気者!

パピヨン × ミニチュアダックスフンド

らいむ

(13歳 ♀)

鹿田支店管内
飼い主：加藤 紗由香さん

好きな食べ物は
リンゴとお肉
お肉は特に
牛肉が好き!



🐾 飼いはじめたきっかけ

— 妹と一緒に移動ペットショップへ行った際、勢いで購入を決断。そのまま家に連れて帰りました😊

🐾 性格

— 怖がりでノミの心臓

🐾 好きな遊び

— じゃれ合い、追いかっこ

🐾 チャームポイント

— 撫でてほしいときにお腹を見せてきたり、前脚でクイクイして訴えかけるところ💕

🐾 飼い主さんからメッセージ

— 歳を重ねてきたけど、いつまでも元気でいてね!

おじいさま します

Vol. 303

西春支店管内
しょういち
池山 鉦一さん

樹木栽培



池山さんが長年続けている趣味は樹木栽培。30年ほど前、グリーン西春日井でソテツの苗木を購入したことをきっかけに、マツやモミジなどを苗木から育て見守っています。生長していく過程を見るのが好きで、樹木を話題に地域の方と交流できるところも魅力と話す池山さん。畑仕事の傍ら、樹木への水やりなど栽培管理に気を配り、小さかった苗木が背丈以上に大きく生長した姿を見ると、日々の積み重ねの大切さを改めて実感するそうです。

池山さんは「こまめに世話を続けて、より大きく生長させたい。樹木の他にジャンボスイカやジャンボカボチャを栽培しているが、世界最大ともいわれる桜島大根にも今後は挑戦してみたい」と笑顔で話しました。

支店通信

西枇杷島
支店

2024.12

西枇杷島地区年金友の会は10月31日、総会を兼ねた日帰り旅行を行い、会員28人が参加しました。

今回の旅の目的地は福井県。三方五湖では、眼下に広がる雄大な景色を満喫し、若狭みかたきらら温泉のホテルでは、和気あいあいと昼食を楽しみながら、話に花が咲いていました。

今後の活動としては、令和7年2月18日(金)に会員を対象としたJAスマホ教室を開催する予定です!!



▲三方五湖

お知らせ

令和6年12月9日(月)、当支店においてアグリマルシェはるひ出張販売を行います。新鮮で安全・安心な地元農産物をご用意してお待ちしております! この機会にぜひお買い求めください! (^o^)/



	本支店窓口	ATMコーナー		アグリマルシェはるひ グリーン西春日井	JA西春日井エナジー	
		※1参照	※2参照		第1スタンド	第2スタンド
令和6年 12月29日(日)	休業	通常稼働	休止	通常営業	通常営業	休業
30日(月)	通常営業		通常稼働			通常営業
31日(火)	休業	9時~17時	休止	休業	通常営業	休業
令和7年 1月1日(水)						
2日(木)						
3日(金)						
4日(土)						
5日(日)						
6日(月)	通常営業	通常稼働	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業

※1 本店、本店九之坪店、西春支店、新川支店、西枇杷島支店、清洲支店、春日支店、師勝支店、鹿田支店
 ※2 阿原支店、青山支店

産直品出張販売のお知らせ

JA西春日井では12月、各支店で「アグリマルシェはるひ出張販売」を開催します。
 ぜひ、お買い物にお立ち寄りください!

開催日：場所

12月9日(月)西枇杷島支店	12月10日(火)清洲支店
12日(水)西春支店	13日(木)師勝支店
19日(火)新川支店	20日(水)本店営業店
23日(日)鹿田支店	24日(月)阿原支店
26日(水)青山支店	

開催時間
 午前9時30分~12時(商品がなくなり次第終了します)

“アグリスクール生”学びの成果!

採れたて朝市

開催日：令和6年12月28日(土)
 午前9時~11時30分
 ※野菜がなくなり次第終了します。

場 所：西春支店 駐車場内特設ブース
 ※売上金は、地域医療支援のためJA愛知厚生連に全額寄付させていただきます。

編集後記

2024年も残りわずかとなりました。皆さまはどのような1年でしたか。振り返ると、元日は能登半島沖地震、2日には羽田空港での航空機衝突事故が発生する不安な幕開けでしたが、7月に開催されたバリ五輪では獲得メダル数が海外開催大会で過去最高となるなど、日本人選手の躍動に多くの方が感動と勇気をもらったのではないのでしょうか。アメリカ大リーグジャース大谷選手の活躍も盛り上がり。スポーツ選手のひたむきな姿を見ていると、来年こそは自分も何かに挑戦しよう!頑張ろう!という前向きな気持ちになります😊 (も)

営業時間外の緊急連絡先 —24時間、365日対応—

■キャッシュカード・通帳などを喪失した時 JAの安心コール フリーダイヤル 0120-089-286	■事故等の場合 JA共済事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931	■プロパンガスのメーターに関するトラブル 名古屋プロパン瓦斯夜間受付センター 連絡先電話番号 0568-79-1002
--	---	---

12月 行事予定

5日(木)	税務相談(本店)
7日(土)	年末感謝セール
~10日(火)	(グリーン西春日井)
12日(木)	法務相談(本店)
14日(土)	周年セール
~17日(火)	(アグリマルシェはるひ)
18日(水)	年金相談会(西枇杷島支店)
19日(木)	年金相談会(春日支店)
21日(土)	税務相談(西春支店)
28日(土)	採れたて朝市(西春支店)

☆休日ローン相談会 7日、14日、21日(西春支店)
 ☆税務・法務相談のお申し込みは営農部開発相談課まで(要予約) TEL: 0568-23-4056

理事会だより (令和6年10月25日開催)

決議事項

第1号議案	令和6年度決算状況について
第2号議案	令和6年度農産物コンクール開催要項について
第3号議案	旧師勝営農倉庫等跡地処分(売却)について
第4号議案	令和6年度産米JA買入価格について
第5号議案	大口貸出の承認について
第6号議案	北名古屋市農業委員会委員の推薦について

全ての議案について原案の通り可決承認されました。

保温資材を用いた
 厳寒期の野菜栽培について



尾張農林水産事務所
 農業改良普及課
 技師 大原 淳平

冬になると、多くの露地野菜は寒さのため生育が停滞しますが、保温することで生育できる環境を作れます。ハウスでなくても、トンネルやべたがけを行えば保温でき、図のように収穫時期を前進させたりすることが出来ます。また低温遭遇による抽苔を防いだり寒害を防止することで品質の良いものを作ることができます。

■トンネル栽培・べたがけ栽培の特徴
 トンネル栽培はべたがけ栽培と比べ保温力が高い利点がありますが、支柱を設置し、フィルムで被覆するため手間がかかります。また、晴れた日の日中はトンネル内が高温になる場合があり、栽培品目や栽培時期、フィルムや不織布の特徴を考慮して資材を選択してください。

【不織布】割繊維不織布(商品名:ワリフ・ベタロン等)はやや高価な資材となりますが、夜間の保温効果に優れ、耐久性が高いのが特徴です。また吸湿性があるため、べたがけ内の結露を軽減する特徴があります。長繊維不織布(商品名:パオパオ・パスライト等)は比較的安価で、なおかつ軽い扱いやすい資材ですが、強度や耐久性が低く使い回しが効かないデメリットがあります。

■トンネル・べたがけ資材
 保温を目的に、トンネルやべたがけに用いる資材として、軟質フィルム(農ビ・農ポリ・農酢ビ・農PO)や不織布(割繊維不織布・長繊維不織布)といったものがあります。

【軟質フィルム】保温効果は農ビが最も高く、その後、農PO、農酢ビ、農ポリと続きます。農ビは保温効果に優れるため、厳寒期の栽培や寒さに弱い野菜に使用すると良いでしょう。一方で、重くべたつくため取扱いにくい欠点もあります。農酢ビは、農ビと農ポリの中間の保温性を示します。農POは軽量で耐久性があり、べたつきが少ないですが、農ビと比べ硬く伸縮性がないため擦れに弱い欠点があります。農ポリは価格が安い反面、強度や保温力が劣るなどそれぞれ特徴があります。

■マルチとの組み合わせ
 トンネル・べたがけにマルチを組み合わせることでより一層、保温効果を期待することが出来ます。マルチの種類は複数ありますが、透明マルチは地温上昇効果が最も高く、黒色マルチは地温上昇の他、光を通さないため、雑草の発生を防ぐ効果もあります。

冬の栽培に保温資材を取り入れ、おいしい野菜を作りましょう。

図 保温資材を活用した作型の例

作目	トンネル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ニンジン	トンネル有	●	○	●				
	トンネル無		●				●	

●は種 ○トンネル被覆 ●トンネル除去 ■収穫

あるため、裾を開けるなどして適宜換気することが必要ですが、穴が開いた穴あきフィルムを使うと、換気の手間を省けます。

べたがけ栽培のひとつである「じかがけ」は、野菜の上に直接不織布をかけるため、設置にかかる費用や労力がかからない利点があります。強風による不織布と野菜とのこすれを防ぐとともに、留め具を使って剥がされないようしっかりと固定することが重要です。また簡易な支柱を使って、野菜と不織布の間に空間を作る「うきがけ」という栽培方法もあります。労力と資材費はかかりますが、べたがけ栽培と比べ保温性が高く、また野菜が直接資材と触れないため、傷つきにくくなります。